

科目名称：	基礎教養Ⅱ	
担当者名：	幼児教育学科1年生、2年生担任	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
初年次教育「KINJOベーシック」として位置づけられています。受動的な学びを「主体的な学び」に転換できるよう、おもに「アクティブラーニング」の手法を使っていること、「学外活動」への参加を前提としていること、2年生と学び合う「チュートリアル」を組み込んでいることが大きな特徴です。グループワークなどを通して人間関係を広げ、いろいろな思いや考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「書く」「発表する」演習を重ねていきます。コミュニケーション力を高め、自ら考え、自ら学ぶ意識が育つこと、さらに、情報リテラシーを含め、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことを目的としています。そのため、「金城祭」等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な生活習慣、学修習慣を身に付け、それぞれの科目で学ぶ知識や技能を定着させる。</li> <li>様々な知見に触れ、新しい経験をする中で視野を広げ、近い将来、専門職に就く人間として人格を高め磨いていくことが望まれる。</li> </ul>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		30	10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学修（「学外活動」及びレポート、小レポート、調べ学習）	期待以上の主体的な事前学修に取り組んでいる。	全ての事前学修に取り組んでいる。	ほぼ事前学修に取り組んでいる。	事前学修を全くしていない。
自分の考えの伝え方（グループワークなど）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 主体的な学びのすすめ① 計画を立てて行動する（金城祭・クラスおよび幼児教育学科企画に関して）	シラバスを再度読んでおく。	10分
第2回 主体的な学びのすすめ② テーマ：学外活動	参加のための具体的計画を立て、第12回授業までに学外活動に1回以上参加する。	30分
第3回 2年生の取組に参加して学ぶ① 金城祭・幼児教育学科企画	2年生の取り組みからの学びをまとめ担任に提出する。（小レポート）	30分
第4回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」① テーマ：「金城祭」の振り返り	小レポートを担任に提出する。	15分
第5回 保育士資格・幼稚園免許を取るということ、保育者になるということ	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第6回 主体的な学びのすすめ③「調べる」「まとめる」「発表する」① テーマ：実習準備	必要な情報を収集し、発表準備（資料・教材作成、練習など）をする。	90分
第7回 2年生の取組に参加して学ぶ② 実習報告会	事前に配付された資料を読んでおく。	30分
第8回 主体的な学びのすすめ④「調べる」「まとめる」「発表する」② テーマ：実習準備	発表の準備物（資料・教材など）を確認し、必要に応じて練習しておく。	30分
第9回 主体的な学びのすすめ⑤ テーマ：実習	実習に必要なものが全て準備できているか確認しておく。	30分
第10回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」②	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第11回 2年生とのチュートリアル KINJO特化履修説明会	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第12回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」③ テーマ：「学外活動」からの学び、一年間の振り返り・まとめ	「学外活動」に2回以上参加し、1週間以内にレポートを作成し担任に提出する。	60分
第13回 2年生の取組に参加して学ぶ③ ミュージックフェスティバル	2年生の取り組みからの学びをまとめ提出する。（小レポート）	20分
第14回 2年生の取組に参加して学ぶ④ KINJO特化成果発表会	各特化担当者から指示された課題に取り組む。	30分
第15回 2年生の取組に参加して学ぶ⑤ KINJO特化成果発表会	各特化担当者から指示された課題に取り組む。	30分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与10%、提出課題30%		
課題に対してのフィードバック		
小レポートの記述内容などを担任チームで共有・検討し、次回以降の授業でフィードバックしていく。		
教科書・参考書		
『KINJO Campus Guide』、必要に応じてプリントを配付する。		